

キャンプブーム一段落か

キャンプinn海山5年度は宿泊者数1割減

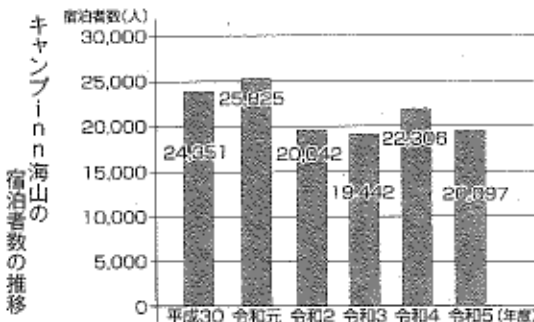
紀北町便ノ山、町営森林公園オートキャンプ場「キャンプinn海山」の令和5年度収支実績がまとまった。宿泊者数は約2万人で、前年度から1割ほど減少し、コロナ5類移行に伴うキャンプブームが一段落している傾向が見てとれる。売り上げの減少は2・8%にとどまっ

た。キャンプinn海山はアウトドアブームに加えて「屋外で、密が避けられるレジャー」として需要が増えてきた経緯がある。キャンプinn海山でも、コロナ禍における宿泊者数の推移を見ると、感染拡大が始まりかけた令和元年度は過去最多の2・5万人で、コ

ナ禍の中でも営業休止期間がありながらも2万人前後となっていた。昨年度は5月から新型コロナウイルス感染症が感染拡大した位置づけが5類に移行。コロナ明けによるキャンプブームの一段落に加え、昨年度には台風の影響を受け、前年度比で宿泊者数が減少した。特に宿泊者数が多いお盆に台風7号の直撃を受け、14日と15日の2日間を休業し、13日と16日はキャンセル料を無料に

して対応した。ナ禍の中でも営業休止期間がありながらも2万人前後となっていた。昨年度は5月から新型コロナウイルス感染症が感染拡大した位置づけが5類に移行。コロナ明けによるキャンプブームの一段落に加え、昨年度には台風の影響を受け、前年度比で宿泊者数が減少した。特に宿泊者数が多いお盆に台風7号の直撃を受け、14日と15日の2日間を休業し、13日と16日はキャンセル料を無料に

して対応した。ナ禍の中でも営業休止期間がありながらも2万人前後となっていた。昨年度は5月から新型コロナウイルス感染症が感染拡大した位置づけが5類に移行。コロナ明けによるキャンプブームの一段落に加え、昨年度には台風の影響を受け、前年度比で宿泊者数が減少した。特に宿泊者数が多いお盆に台風7号の直撃を受け、14日と15日の2日間を休業し、13日と16日はキャンセル料を無料に



た。昨年度は5月から新型コロナウイルス感染症が感染拡大した位置づけが5類に移行。コロナ明けによるキャンプブームの一段落に加え、昨年度には台風の影響を受け、前年度比で宿泊者数が減少した。特に宿泊者数が多いお盆に台風7号の直撃を受け、14日と15日の2日間を休業し、13日と16日はキャンセル料を無料に

年 度	売り上げ
平成30	6,488万616円
令和元	6,967万2,120円
令和2	5,566万6,282円
令和3	5,536万9,291円
令和4	6,508万1,010円
令和5	6,326万1,141円

キャンプinn海山の売り上げ額

また、1043万3500円かけて施設を整備。炭火焼ハウスの屋根やセクターハウスのスロープの改修、リバーサイトの山側の舗装工事を行った。財源には主に地域づくり事業基金を充てた。



「鏡子川大冒険!」の様子

指定管理者のふるさと企画舎の田上至理事は「キャンプブームは落ち着いたが、コロナ禍で得てきた経験をこれからどう生かしていくかが重要となる。自然を教育に生かしていくプログラムや、子どもだけでなく親も楽しめる自然体験など、さまざまな取り組みを行っていきたい」と話した。

町商工観光課は「キャンプブームが一段落し、猛暑による夏キャンプの利用減少や大型台風襲来などキャンプ業界としては厳しい時代が来たと感じている。キャンプinn海山は、リピーターの取り込みと新たな顧客獲得を目指し、子ども向けの自然体験、ファミリーが楽しめる施設や遊び場の設置、トレッキングのベースキャンプ地としての利用の促進などに取り組みでもらっており、今後も指定管理者と連携して、ロケーションや地域資源を生かした魅力づくりと情報発信に努めている」と話している。